

# 星空情報

2019年5月号

## 丑三つ時の天体ショー 月・木・土に注目。

午前2時頃



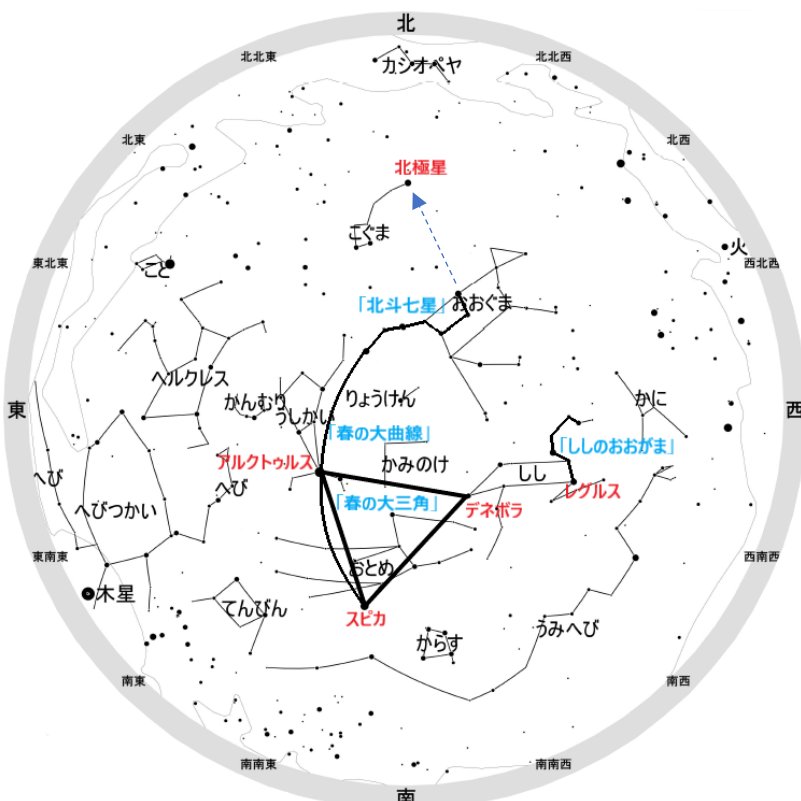
5月20日の夜に昇ってきた月の近くに木星が！時間とともにだんだん近づいてきて、いちばん大接近するのは、21日午前2時頃！



22日には、月は木星と土星の間に、23日には、月と土星が接近するよ。



### 5月15日 21時ごろの空



風薫る5月、大型連休は、いかがでしたか？ さて、5月半ばになると日没時刻も遅くなり、夜8時を過ぎる頃に、やっと星たちが楽しめるようになります。

春の星座巡りのスタート地点は、北の空に輝く7つの星「北斗七星」です。ひしゃくのような形の両端の星から線を延ばしていくと、「北極星」が見つかります。「北斗七星」は、おおぐま座にある星たち、「北極星」は、こぐま座にある星です。

次に、北斗七星のひしゃくの柄のカーブに沿って先に延ばしていくと、うしかい座のオレンジ色の星アルクトゥルス、おとめ座の白色の星スピカへとつながっていきます。これが、「春の大曲線」です。さらに、春の大曲線の先には、小さな四角形のからす座もつけてみましょう。

また、アルクトゥルスとスピカと、しし座のデネボラを結んだ「春の大三角」も良く見えています。しし座は、「？」を裏返したような、「ししのおおがま」が目印です。「？」の一番下の星は、レグルスといい、「小さな王さま」という意味です。